

## アマゴ

アマゴは海や湖へ下るかそのまま川に残るかで大きさや呼び方が変わります。海や湖に下り大きく成長する方がサツキマスで、そのまま川に残り成長する方がアマゴです。

体の横側に7～11個の暗青緑色のパーマークがあります。背側には小さな黒点、横側には朱点が散在します。

年間を通じて水温の低い渓流域に生息し、落下したり流れてくる昆虫や水生生物、小魚などを食べます。

9～12月頃になると産卵し、3～4ヵ月すると卵からかえります。



### 富士市での現状

須津川の上流域で確認されました。

しかし、昭和50年頃に市が他地域のアマゴを放流しているため、元々富士市にいたアマゴの固有の遺伝子が無くなってしまった可能性があります。

また、同一河川でヤマメも確認されました。アマゴとヤマメは交雑してしまうため、遺伝子汚染の心配があります。

### アマゴを確認したメッシュ

